

2018年8月29日

ランクセス、本年度も東北復興支援の一環として 小学生を対象に「化学実験教室」を岩手県内で開催

ランクセス株式会社

芸術・科学分野における優秀な若者の育成は、持続可能な社会の発展に重要な役割を果たしています。ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)は、社会的責任(CSR)活動の一環として、岩手県・下閉伊郡山田町で小学生を対象にした化学実験教室「つくってまなぼう！わくわく実験教室」を開催しました。今回の実験教室は、8月17日(金)と8月18日(土)の2日間、山田町立山田南小学校放課後児童クラブおよび山田町ふれあいセンター「はぴね」の2箇所にて、地元の一年生から六年生までの小学生を含む計32名の児童が参加して行われました。ランクセスは、2014年から毎年、宮城県や岩手県内で化学実験教室を開催してきましたが、5回目となる今年は、昨年に続き公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(本部事務所:東京都千代田区、以下セーブ・ザ・チルドレン)との共催で、岩手県内での開催となりました。

この化学実験教室は、子どもたちに楽しみながら化学の知識を学んでもらうことを目的にしたもので、今年は「コンクリートを学ぼう！」をテーマに計2回開催しました。実験教室では、コンクリートの組成や化学反応に関するレクチャー、当社の着色顔料「バイフェロックス®(Bayferrox®)」で着色したカラーコンクリートを使用した作品作りなどを行いました。実験教室の後半には、山田町の豊かな自然を表す「海」と「山」をテーマにした共同作品作りを行い、参加した子どもたちの感性を生かした色彩豊かなコンクリート作品が制作されました。

ランクセスの日本法人 ランクセス株式会社の代表取締役社長である辻 英男は、次のように述べています。「今日、自然災害による甚大な被害が各地で報告されています。弊社は、東北地方を含む被災地の一日も早い復興を願うと共に、住む地域や個々の豊かさに左右されず、全ての子どもたちに質の高い高等教育の機会を提供するという持続可能な開発目標に向かって、引き続き教育分野への支援を続けてまいります」

ランクセスは、東日本大震災により被災した子どもたちの支援を目的に、2011年よりセーブ・ザ・チルドレンの活動を支援しています。その支援活動を通して、被災地の復興が進む中、子どもたちへ、さらなる支援の拡充を目指し、2014年から宮城県内で、2017年からは岩手県内で化学実験教室を開催するプロジェクトを実施してきました。本年度は、2018年5月に社内を横断するメンバー15名によるプロジェクトチームを立ち上げ、実験教室の企画・準備を進め開催に至りました。

■化学実験教室の開催概要

【名 称】「つくってまなぼう！わくわく実験教室」

【主 催】 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
山田町ふれあいセンター
ランクセス株式会社

【日 程】 2018年8月17日(金)／8月18日(土)

【場 所】 岩手県・下閉伊郡山田町町立山田南小学校放課後児童クラブ及び
山田町ふれあいセンター「はびね」

【対 象】 岩手県・下閉伊郡山田町内の小学一年生～六年生を含む児童 32名

【内 容】

「コンクリートを学ぼう！」をテーマにコンクリートの組成と化学反応、速乾性セメントと着色顔料を使ったカラーコンクリート作品作りを行った(所要時間: 約1時間半)

- ① 講座「コンクリート」の組成と化学反応、着色の方法など
- ② 実験「速乾性セメントと着色顔料を混ぜてカラーコンクリートを作り、型に流してフォトスタンドを制作
- ③ カラーコンクリートを様々な型に流し込んで「海」と「山」をテーマにした共同作品制作



山田南小放課後児童クラブでの
化学実験教室の様子
(写真: ランクセス株式会社)



山田南小放課後児童クラブでの
化学実験教室の様子
(写真: ランクセス株式会社)

ランクセスの教育支援プロジェクト

ランクセスグループは、2008年に世界的な教育イニシアチブを発足させ、今年で10年目を迎えました。ランクセスは、2008年以来、世界各国の拠点を通じて、若者向けの教育と知識向上を目指す教育イニシアチブを推進し、およそ800万ユーロを投資してきました。プログラムの恩恵を受けた学生は合計でおよそ70万人にのぼります。科学教育プロジェクトの推進や、実験施設や技術装置、化学・生物・物理・コンピューターサイエンスの教材提供など、10年間で500件を超える教育プロジェクトに取り組んできました。

また日本では、小澤征爾氏の主催する「小澤国際室内楽アカデミー奥志賀」を 2011 年の設立時より支援しています。

ランクセスの SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み

2015 年に国連持続可能な開発サミットで採択された SDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」における 17 の目標では、4 番目に「質の高い教育」という目標を掲げています。ランクセスグループでは、2015 年の制定当初から SDGs に掲げる 17 全ての開発目標に取り組むことを表明し、事業活動、社会貢献活動を通して推進してまいりました。

日本においては、本年 2 月に、SDGs の 17 の目標それぞれについて、ランクセスの取り組みを紹介する日本語ウェブサイト(<http://lanxess.co.jp/jp/sustainability-japan/sdgs-j-j/>)を公開しました。また、本年 5 月には、従業員、取引先など、SDGs に関する各開発目標について知ってもらう啓蒙活動の一環として、また、ランクセスのグローバルでの取り組みを公開し、国内における取り組みへの推進につなげることを目的として小冊子を作成しています。

ランクセスは、被災地の一日も早い復興を願い、今後も支援活動を継続してまいります。

#

ランクセスについて

ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。

www.lanxess.co.jp

ランクセス株式会社について

ランクセス株式会社は、ドイツに本社を置くランクセスグループの日本法人として、国内で 10 のビジネスユニットを展開しています。主な事業として、世界の生産拠点から化学品を輸入し、幅広い製品群を自動車、タイヤ、IT、電機・電子製造など、日本のさまざまな業界に向けて販売しています。東京・丸の内には本社をおき、豊橋、姫路に事業所をおいています。ランクセス株式会社についての詳細は同社 URL にてご確認下さい。

www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

lanxess.japan@lanxess.co

免責について (Forward-Looking Statements)

本プレスリリースには、ランクセスの予測、見解、期待、そして第三者からの引用を含む、予測・予定事項の記述がございます。様々な既知あるいは予測不能なリスク、不確定要素、またその他の要因により、実際に発生する結果、財務状態、発展及び業績が、本資料に記載の予測・予定事項と大幅に異なる可能性があります。本資料に示される将来予測に関する意見の正確性や進展が実際に起こりえるかどうかに関しても責任を負うものではありません。ここに示されたいかなる情報、予測、推定、目標、意見に関して、明示的あるいは黙示的な表明や保証を行うものではありません。そのため、これらの記述につきまして、本資料の記載事項に全面的に依存されることは控えて頂きますようお願いいたします。本資料に示したいかなる脱漏、誤った記述に関しても責任を負いかねます。また、この資料を使用することによる直接的あるいは間接的に生じる事項に関して、ランクセスとその関連会社、役員、責任者、従業員は一切の責任を負いかねますので、併せてご了承いただきますようお願い申し上げます。

その他の情報

ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の”プレスリリース”項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://multimedia.lanxess.com> (英語)

ランクセスのウェブマガジンは下記でご覧いただけます。

<http://webmagazine.lanxess.co.jp>

ランクセスの Facebook、Linkedin、Twitter、Youtube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

http://www.twitter.com/LANXESS_JP (日本語)

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)

<http://www.linkedin.com/company/lanxess> (英語)

<http://www.youtube.com/LANXESSTV> (英語)

(2018-J00004J)